

For Adult

気高き戦士の
の
屈服



遂に最期の時が訪れたようだな……この異空間の中ではお前達は赤子同然……

技を封じられたお前らなど恐るるに足らんただの女……惨たらしい死を迎えるがいい！

私達は無限に増殖を繰り返す敵に為す術も無く敵の容赦ない攻撃により癒えようのない致命傷を受け……死を待つのみ存在でした……

私達……ここで終わるのね……

死ね！
セーラー戦士共…

あああああ！

ウラヌス…

サターン…
プルート…

私達…戦いに
敗れてしまった
のね…

例え独りになろうとも
最期まで戦う覚悟でした
使命の為…
戦いで散った仲間の為…

気が付いた時
私は倒れていました…



まさか……！
敵が単独行動を
取るなんて……！

私が独りに
なるのを
待っていたのね？

それなら私も
容赦しなくてよ



ククツ……探したぞ
セーラーネプチューン
………！



……？

ククツ……
そんな惨めな姿で
勝ち目の無い戦いに
挑もうとは……

実に感動的だ……
ますます気に入ったぞ
ネプチューン……

それは
どういう意味
なのかしら？

一体何を
……

い…いやあつ
放しなさい…！

ククツ…観念しろ
もうお前は私に従う
しかないのだから…

お前の事は前から
私の所有物にしようと
思っていたのだ…

素直に戦士の身体を
差し出し…
私に生涯仕えるなら
命だけは助けてやろう…

えっ…？

我が星で
妾として飼ってやる…
感謝するがいい…



惨めに敗北しても
失わないその気品：
ますます気に入った

ところでこの道具：
見覚えがあるだろうか？

「これな……」



敗北しても
決して精神まで
屈したりしない！

セーラー戦士の
誇りにかけても……



う……嘘よ
そんな事……！
こんな事……！

サターン……
敵の手に落ちて
しまったの？

先程までの威勢は
どうした？
セーラーネプチューン……

お願い！
はるかには
何もしないで……！

何処にいるの？
怪我を
しているのね……！

フツ……そんなに
その者が
大事なのか？

それならば
頭を垂れ
我が意に
従うがいい……

そうすればウラヌスに
手を出さぬよう……
部下に命令してやろう

ああ……そういえば
部下から報告があったな
……あの者はまだ
生きているらしいぞ

何でも……虫の息で
お前の名を
呼んでいるとか……

ウラヌス！

本当に…それで
はるかを手助け
くださるの？

はるかが助かるなら…
私は妾に堕ちても
…いいわ…だから…

ククツ…勿論だ
約束を守って
欲しければ
忘れるな…

全ては
お前次第だと
いうことをな！

ククツ…どれほど
待ち望んだことか…
ネプチユーンを犯せる
この時を…！

いやああ！

ひいっ！

ひあつっ…
いやあつ…！

アッ！
アッ！

いい感触だ…
まるで吸い付いて
来るようだな

さあ…
奉仕して
もらおうか…

んんっ…！

そうだ…
遂に腹を決めたか…

こんな辱めを
受けるくらいなら…
でも耐えさえすれば
はるかの命が…！



いい眺めだな…あの
気品漂う戦士ネプチューンが
セーラーズーツのまま
敵に淫らなご奉仕とはな…

酷いわ…こんなに
戦士の誇りを
踏みにじられるなんて…

くっ…
うううっ…!

ネプチューンの口脛を
犯していると
思うだけで…もう…!

いいか…っ!!
射精すぞ…!!

あああ…っ
ひあつ…!!





ククツ…次は
いよいよ膣内で
満足させてみる

あぁあつー!



はるか…
無事でいて…



さあ…お前の意志で
自らここへ腰を落とす
膣内に入れるのだ

お前には従うしか
選択肢は無い…
わかるな?

そんな…!

敵を受け入れたら……
私のエナジーが
壊されてしまう……

お……お願い……
許して……
それだけは……

戦士のエナジーだけは
失う訳にはいかない！

あのネプチューンが
敵に跪き哀願とは……
たまらんな……

ひ……っ
あ……あ……っ……

や……やめてえっ
こわれ……るっ……

エナジーが
破壊される……！

もう…ダメ
とても敵わない…

敵に屈し…
堕ちるし…
ないのね…

ククク…
ようやく覚悟が
出来たようだな

従わぬなら
ウラヌスの命は
無い物と思え…!

わ…わかりました…
ご…ご奉仕させて…
頂きます…です…から
ウラヌスを助けて…

戦士の身体で
自ら敵を
受け入れるなんて…

はあ…
はあ…

いやっ…
痛…っ…!!

ごめんなさい…
…はるか…

どうした?
根元まで全部
挿入しろ…!!

ひっ…!!

まさかあの気高き戦士が
セーラーネプチューンが
騎乗位で自ら腰を振る
様が拝めるとはな…

あ…
ああんっ…!!

全てははるかの為
ですもの…
耐えなければ…

心まで敵に屈しては
いけないの…!!

素晴らしい…この
セーラーズーツと
密着した肌の感触…

い…いやあああ！
やめてえ……っ！

どのパーツも
ずっと舐め回して
みたくった！
ククク…ツツ！

ああっ…！

神聖な
セーラーズーツに
こんな辱めを
受けるなんて…！

ククツ：
これは何だ
ネプチューン…？

セーラーズーツを
舐め回されて
こんな感じたのか？

あつ…
あう…うっ！

そんな…
何も抵抗できず
無力にただ犯される
だけだなんて…

よかろう…望み通り
全身犯し回して
くれるわ…！

いやあああ！

見ろ…この濡れ具合を…

いやああつ！

敵に無理矢理犯されてるのにこれほど感じてしまうとは…

気品漂う気高き戦士セーラーネプチューンもこうなってしまうばただの女だな

いやああつ！
感じて…なんか
あ…ああ…っ！

わたし…もう…
落ちてしまった…



お高くとまっても
所詮は淫乱な戦士……

お前こそ
我が妾に
ふさわしい……

ひっ……!

ギョッ……

もう……二度と
元には
戻れないというの
………?



いっ……
いや……あっ……

あ……あんっ……

これから毎晩
このセーラーズ
奉仕するがいい……!

あ……ん……

あ……

あ……

いいか
射精すぞっ！

遂にネプチューンを
手に入れたぞ！
絶対に手放しはしない…

あああっ！

さあ…

最高だ：
とうとうネプチューンが
我が手に堕ちたぞ！

ぐあぁっ……！

な…何故だ
ネプチューン…？

言ったはずだぞ…
妾として
生かしてやると…！

私はセーラー戦士：
敵の元で生き存える位なら
戦って潔く散る道を選ぶわ

愚かな…この騒ぎで
集まってくるぞ…
部下共が大勢な…

技の使えぬお前は
もう貪り喰われるしか
道はないのだぞ…

良くってよ…
望むところだわ

…
みちる…
探したよ…

!!



ごめん…
遅くなつて

いいのよ…
気にしないで



はるか…!

やっと
見つけた…



まあ…こんなに
ギャラリィを
集めるなんて
流石はるかだね

いや…
これはみんな
君のファンだろう?

どちらにしても
おもてなしが
必要ね…

みちる…
怪我はないか？

ええ…
大丈夫よ
これくらい

流石に
今回ばかりは
ダメかも
しれないわね…

いいよ…
みちると
死ねるなら…ね

あなたがいる限り
私は戦士として
生きていける…

たとえ
この戦場で
散ったとしても…



前書きのような後書きのような…

みなさまこんにちわ。世間では秋頃からクリスマスの叫声が挙がる昨今、皆様如何お過ごしでしょうか。新聞の折り込み広告を見ても雑誌を見ても、やれあれ買えだのやれこれ買えだの、醜いほど消費喚起。書いている本人は恥ずかしくないのでしょうか？

クリスマス特集！〇〇を持ってなけりゃ生きていけない！

とか、どこかの雑誌の見出しになっていましたが、〇〇を持っていない人は死人同然というわけですね？。まあ、私も持っていませんし、死人同然といえはそうかも知れませんが。

やはりクリスマスといえば、枕元にプレゼントというわけです。私にもいっちょ前に幼少期というものが気の遠くなるほど昔にありまして、それはもう10月頃から欲しいものを思い描きクリスマス前日まで悶々と過ごすわけです。小学生の頃でしょうか？、私は悩みに悩んだ末、ちょうどそのころ完成したばかりの東京ドームを模した「東京ドームビッグエッグ野球盤」を下さいと、紙に書いて靴下に入れ翌朝を待ったわけです。当時としては画期的な造形、何せ野球盤に透明プラの屋根がついているんですよ。しかも四角い電池で電動オート連続投球ができたり照明が点いたり…。今思えば何てこと無い機能なんですけど、ファミスタも無い当時、旧態依然とした野球盤業界(?)に風穴を開けた画期的な商品だったわけです。そして、翌日。私の枕元には大きな箱がありました。いつの間に？いい子にしているといいことがあるのね。これからもいい子でいるよ、ババママ！早速包装紙を破り、パッケージに目をやると…。

「王貞治選手の野球盤」

……へ？なんか箱が黄ばんでますよ？というか印刷が変色してますよ？というか汚い下宿の押し入れのような臭いがしますよ？王貞治って監督じゃないんですか？今の(当時)四番は原辰徳ですよ？松本篠塚クロマティ原吉村中畑河埜山倉江川ですよ？しかも開けてみて気づいたんですが、バットが付いてないですよ？消える魔球の穴が開いたまま戻らないですよ？プラスチックの選手が三人ほど足りないですよ？。……貧しい我が家の哀しき思い出でした…。

さて、今回は冬コミ合わせ新刊3冊の最後の一冊みちるさん本です。正直前二冊の方にかなり時間を取られてしまったんで、この本が出るかどうか厳しいところだったんですが、なんとか締め切りに間に合うと踏んで勢いで仕上げたいと思います。本来でしたら、もっと時間とページを掛けてなんとももっと実のあるみちるさん本を作りたいのですが…。前回の本がけっこう惨憺たる感じでして…。私の日常はあの本の在庫と共にあるといった感じなのです…。ですのだからかなり弱気なのです…。ネタは一つ二つあるんですが…。

さて、どうやらこれが前書き兼後書きとなりそうなので…。今後の予定ですが、今年の秋に出しましたレイちゃん本が有難いことに思いの外好評だったようで、再販しろコラ！というメールを結構な数頂戴いたしております。その辺に折り合いをつけつつ、舞オトメ(変換がめんどくさいのでこのままで)のシズル本でも行きたい気もしつつ、いつもの通りセーラームーンの敗北物かも知れませんが、マンモス西×矢吹丈のやおいかも知れません(これはうそ)。来年もどうぞ一つ宜しく願いいたします。それでは…。

気高き戦士の屈服

■発行日 平成17年12月29日

■発行元 小鳥事務所

無断転写・無断複写禁止

気高き戦士の屈服

小鳥事務所

For Adult